

宮城県林業普及活動情報

2025. 4月号 No. 203

もくじ

各地の林業普及活動情報

P 2～7

- 丸森町産たけのこ出荷等に関する打合せ (大河原地方振興事務所)
- 大河原産業高等学校林業関係PR活動・実習支援等に関する打合せ (大河原地方振興事務所)
- 食の安全・安心の確保のため、直売所等に対し巡回指導を実施 (仙台地方振興事務所)
- 広葉樹の搬出に向けた森林整備の相談に対応 (仙台地方振興事務所)
- ミズキ生育箇所現況調査支援 (北部地方振興事務所)
- 「苔玉・テラリウム作り」への支援 (北部地方振興事務所栗原地域事務所)
- 林業グループ等への活動支援 (東部地方振興事務所)
- 伐倒駆除（へり搬出）に係る漁協への説明 (東部地方振興事務所)
- 原木しいたけ栽培見学会支援 (東部地方振興事務所登米地域事務所)
- 新規原木しいたけ生産者とベテラン生産者とのマッチング (気仙沼地方振興事務所)
- 学校法人尚絅学院大学の里山再生プロジェクトに支援 (林業技術総合センター)
- 市町村林務担当職員研修会を開催 (林業技術総合センター)

丸森町産たけのこ出荷等に関する打合せ

大河原地方振興事務所

【7日(月)】

今シーズンの丸森町産たけのこの出荷に向けて、町内に設置されている2か所の放射性物質測定所の担当者及び町担当者と検査のオペレーション等について打合せを行いました。現場の課題についても話し合うことで、より円滑で効率的な検査体制づくりを関係者合意のもと、進めることができました。

引き続き、町や生産者等と連携しながら、安全・安心で美味しいたけのこを皆さんにお届けできるよう取り組んでいきたいと思えます。



【打合せの様子】

大河原産業高等学校林業関係PR活動・実習支援等に関する打合せ

大河原地方振興事務所

【14日(月)】

将来の林業従事者の確保のため、県内で唯一林業関係科を有する大河原産業高等学校に対し、林業関係科の2・3年生に対する実習支援と専門科の選択を控えた農業科学科1年生に対する林業関係PR活動の実施時期及び実施内容について打合せを行いました。担当科の教諭からの要望を踏まえ、2年生には高性能林業機械の操作体験等、3年生には木質バイオマス関連施設の見学等を軸に、夏休みに実習を実施することとしました。農業科学科1年生への林業関係PR活動については、素材生産から住宅販売までを担う林業関係事業体を訪問し、林業・木材産業の魅力等を説明してもらうことで、林業関係科への興味を持ってもらえるような実施内容で関係者と調整することとなりました。今後、各活動に向けた調整を行い、林業の後継者確保に向けた取組を継続していきます。



【打合せの様子】

食の安全・安心の確保のため、直売所等に対し巡回指導を実施

仙台地方振興事務所

【11日(金)・22日(火)】

多くの山菜が流通するゴールデンウィークを前に、管内の主要産地である黒川郡の農産物直売所等を巡回し、山菜類に関する安全の確保について指導・情報共有を行いました。

平成3年に発生した福島第一原子力発電所の事故の影響で、県内では山菜類等の一部品目に対して依然、出荷制限がかけられています。

今回の巡回指導では、出荷制限中の品目の流通防止、販売物の安全性の確保について、注意を継続していただくようお願いしました。

引き続き、特産林産物の振興、安全・安心の確保に向けた取組を実施していきます。



【巡回指導の様子】

広葉樹の搬出に向けた森林整備の相談に対応

仙台地方振興事務所

【24日(木)】

大和町の事業体より、広葉樹材の搬出に向けた森林整備の補助金に関する相談があり、約6ヘクタールの事業予定地について樹種及び林齢を確認しながら相談に対応しました。国庫補助の公共事業、非公共事業は条件が合致しなかったことから、県単事業について説明しました。温暖化防止間伐推進事業を活用した間伐、県産広葉樹スタートアップ事業(流通システム)を活用した皆伐について案内し理解が得られました。

今後も事業計画について支援していくこととしました。



【相談対応の様子】

ミズキ生育箇所現況調査支援

北部地方振興事務所

【25日(金)】

こけし制作に必要なミズキ材確保の観点から、こけし工人と合同で生育箇所及び苗畑現地調査を実施しました。

葉菜山麓において、道路に面した林地にミズキが点在しており、利用価値がありました。当地は、水源涵養保安林、自然公園地域内であるため各々手続きが必要ですが、関係機関との調整を図りつつ伐採に向けた準備を進めていきます。また、苗畑生産者を訪問し、令和元年から植栽を始め、育てたミズキ苗について、先方の御好意により60本を譲り受けました。

今後、植栽地及び植栽時期について検討し、普及活動の継続を行っていきます。



【苗木生産者からのミズキ苗譲り受け】

「苔玉・テラリウム作り」への支援

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【19日(土)】

「くりはらの苔」の魅力を広く知ってもらうため、栗駒高原森林組合が開催する「栗駒高原森林まつり」において企画された「苔玉・テラリウム作り」コーナーへ出向き、スタッフとして参加者の作品制作を支援しました。

森林組合の事前PRが奏功したためか受付開始とともに多くの体験希望者があり、苔に対する潜在的な関心の高さを実感することとなりました。

当イベントを始め、今年度も多くの「苔に触れる機会」を予定しており、11月に開催する「苔フェスティバル」の盛り上げにつなげていこうと考えています。



【苔テラリウム作りの様子】

林業グループ等への活動支援

東部地方振興事務所

【13日(日)】

みんなの森林づくりプロジェクト推進事業の活動団体が開催した森林体験イベントにおいて、林業普及指導員から森林の働きや林業の役割について説明を行いました。

当日は、森林内の散策やノコギリを使った森林整備体験、木工工作なども行われました。

当所からは、森林の働きや林業の役割について、マンガ絵の資料を活用して説明を行いました。

参加者の多くは小さい子どもを含む家族であり、興味深く耳を傾けていました。

その後の森林体験活動では、初めて使うノコギリや丸太運びなどに夢中になる子どもたちの姿が見られ、もっと山にいたいという声も聞こえました。

全体を通して、子どもたちが森林に触れあい、林業を体験する良い機会となりました。



【森林体験活動：丸太運びの様子】

伐倒駆除（へり搬出）に係る漁協への説明

東部地方振興事務所

【17日(木)】

令和7年度森林病虫害等防除「春季伐倒駆除」業務委託に伴う松くい虫被害木のへりコプター搬出の概要について、東松島市宮戸地区の2漁協に対し、スケジュール等の説明を行いました。

当所からへり搬出の日程や留意点等について事業の説明を行い、2漁協とも了解を得られました。また、地元漁協からこれからの作業や漁について情報提供いただくとともに、漁業者への周知等に協力いただけることとなりました。



【漁協への説明の様子】

原木しいたけ栽培見学会支援

東部地方振興事務所登米地域事務所

【12日(土)】

原木しいたけ生産者と消費者の交流を目的として行われた見学会の実施を支援しました。

登米市産原木しいたけの栽培方法や放射性物質汚染対策の実施による安全・安心な生産物の流通確保について説明し、一般消費者や流通小売担当者の理解を得ました。



【放射性物質対策説明の様子】

新規原木しいたけ生産者とベテラン生産者とのマッチング

気仙沼地方振興事務所

【22日(火)】

今年度から新規で原木しいたけ栽培を開始する生産者からの要請により、同地域のベテラン生産者とのマッチングを行いました。

まずは、しいたけ生産のイメージづくりということで、ベテラン生産者の栽培施設を視察し、栽培に当たっての留意点や大まかな工程等について説明を受け、熱心にノウハウを学んでおりました。

その後、新規生産者の栽培予定地を確認し、栽培環境についてアドバイスをいただき、大変参考になったようでした。なお、栽培拠点も同地区であり、比較的近いことから、継続して指導・助言をいただけることとなりました。

今後も管内の原木しいたけ生産体制強化に向けて、普及活動を続けてまいります。



【栽培施設の視察状況】



【栽培予定地の確認（空間線量測定）】

学校法人尚絅学院大学の里山再生プロジェクトに支援

林業技術総合センター

【12日(土)】

大学の要請を得て標記プロジェクト活動を支援しました。

支援内容は、学校林「尚絅の森」の簡単な植生調査、薪運びやチェーンソー造材及び今後の活動への提案(遊歩道新規ルート作設・特用林産物の利活用・里山レクチャー等)です。

次回は、5月10日(土)に支援します。

なお、当プロジェクトは、市民参加型の活動なので興味のある方は、大学公式ホームページから御参加願います。



【今回のメンバー顔合わせ】

市町村林務担当職員研修会を開催

林業技術総合センター

【28日(月)】

当所研修棟において、新規市町村林務担当職員を対象に、林業の基礎知識習得を目的とした研修会を開催しました。

教程は、林業用語の基礎知識・林業行政執務の意義・市町村森林整備計画作成演習です。

用語の基礎知識では、「森林・林業用語の基礎知識」(宮城県林業振興協会提供)及び「宮城県民有林材積表及び林分収穫表」を配布し理解の助けとしました。また、演習においては、林業普及指導員が、フォレスターとして地域林政アドバイザー役を演じました。



【策定市町村森林整備計画付属図の説明演習】